

城南家保ニュース R2-5

〒868-0056 人吉市寺町 12-1

TEL : 0966-22-3814 FAX : 0966-22-3617

メールアドレス jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



畜舎の消毒について

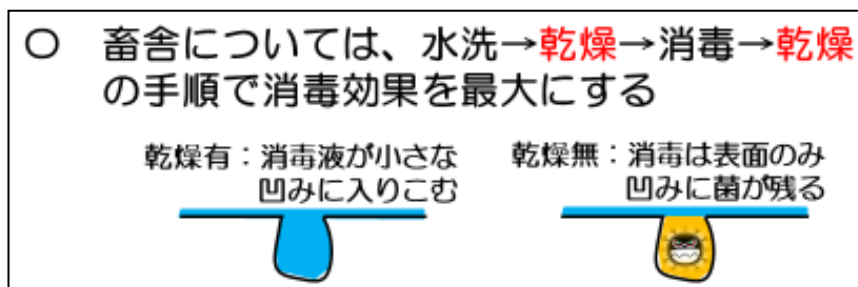
令和2年7月豪雨により、浸水等の被害があった管内の畜産農家の方々へ心より御見舞い申し上げます。

今回の豪雨では、土砂や汚泥が畜舎内へ流入したケースが多くみられます。このような土砂や汚泥中には、家畜・家さんにとって有害な物質が含まれている可能性があり、下水由来の大腸菌等や土壌中の破傷風菌等のリスクが高まっていると考えられます。

豪雨の二次災害として、飼養する家畜への被害がでないよう、適切な洗浄及び消毒をお願いいたします。有害な細菌等について、消毒方法を御紹介しますので、御活用いただければ幸いです。

☆ 消毒前に実施すべきこと

水洗等により、土砂等の汚れを除去しておいてください。汚れ中には多数の細菌が存在しており、汚れが残った状態での消毒は十分な消毒効果が期待できません。また、乾燥も消毒効果を高めるために重要な工程です。洗浄・乾燥後に、消毒を実施するようお願いいたします。



○ 芽胞を形成しない細菌

例：大腸菌、サルモネラ菌等々

特徴：これらの細菌は、土壌中に常在していませんが、今回のような水害では、下水等により汚染された土が流入するため、これらの菌が存在する可能性があります。

消毒：逆性石鹼や消石灰等の多くの消毒薬が有効です。

○ 芽胞を形成する細菌

例：クロストリジウム属菌（破傷風菌、ボツリヌス菌等）、バチルス属菌（炭疽菌）

特徴：これらの細菌は、土壌中に常在しており、生息環境が悪くなったとき、芽胞と呼ばれる殻を形成します。芽胞を形成すると、消毒への耐久性が高くなり、100℃で煮沸しても完全に不活化できません。

消毒：グルタラール製剤、塩素系消毒剤、ヨード系消毒剤が有効です。一方で、逆性石鹼やオルソ剤、消石灰などの消毒薬はあまり効果が期待できません。

○ 真菌類（カビ）

例：カンジダ属、アスペルギルス属、クリプトコッカス属等々

特徴：多くの真菌類は、病原性は低いのですが、日和見感染の原因となり得ます。暑熱期により免疫が落ちている状態の家畜・家さんにとって危険なリスク因子です。

消毒：多くの消毒薬が有効です。

※ 注意事項

- 消毒薬（ヨード系、塩素系等）によっては、金属の腐食性がありますので注意しましょう。
- 多様な病原体の侵入が想定されますので、消毒薬の希釈濃度は用法上の最大濃度を推奨します。用量・用法を御確認のうえ、適切に使用してください。
- 消毒薬を散布後、乾燥をお願いします。消毒効果が消失した後、水分が残っていると、カビ等の増殖を招く恐れがあります。

【家保による管内畜産農家の畜舎消毒について】

城南家保では、管内で浸水等の被害に遭われた畜産農家を対象に畜舎の消毒を行っています。7月末から順次実施しているところです。

豪雨による畜産の被害が最小限で治まるよう尽力していきますので、家畜衛生等に関して御相談・御不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N5	台湾	地鶏	令和2年(2020年)6月18日
	H5N6	ベトナム(2件)	家禽	令和2年(2020年)6月25日
	H5N6	フィリピン	採卵鶏	令和2年(2020年)7月6日
	H7N7	オーストラリア	家禽	令和2年(2020年)7月24日
ASF		韓国(38件)	野生イノシシ	令和2年(2020年)7月1日 ～令和2年(2020年)7月31日
		中国	豚	令和2年7月22日
		ロシア(27件)	豚、野生イノシシ	令和2年(2020年)7月1日 ～令和2年(2020年)7月31日
		ウクライナ	豚	令和2年(2020年)7月22日

令和2年(2020年)8月1日現在